一月二十五日(必着)

回作品の出し方

(黒色に限る)

▼硬筆部=B5判(二五七㎜×一八二㎜)以 下の紙に書いて下さい。用具は自由です。

▼毛筆部=半紙に書いて下さい。(筆ペン可) 毛のどちらか一方に限ります。 *出品制限の対象とはしませんが、出品は硬

掲載しますが、成績表での順位発表はしま

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・ 硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の 成績)を、作品余白にお書き下さい。 奥

村 憲 照 先 生 書

> ◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛 ▼「三体千字文」課題からスタートし、 (一九八一)年四月のことです。 憲照先生の穏健中正で気品のある手 筆部が設立されたのは、昭和五十六 本が好評を博しました。

▼短期特別課題として、平成二十四年 はその続きです。 一月から二年間学びましたが、今回

◆原点に返って、基本用筆と正しい崩 し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中 あり、初学者の教科者でもあった。 からまとめたといわれる。 からなっており、聖徳・修養・修身 斉家等について述べられた習字手本で 梁の武帝(在位五〇二~五四九)の 四言古詩二五〇句、重複しない千字

解説

弔。 民 伐ぶ 罪が

周ュウ 發ツ 股が 湯り

周の武王や、殷の湯王であった。 民を弔み、罪を伐ったのは、

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解 説〕

すが歴史的に行書が先に出来、後から楷書が完成した。行書の方が先輩です。

)今月は行書。楷書と並んで最も日常的に使われる書体。楷書を速書きしたのが行書と思われがちで

▶教範・書範は右課題を「楷書」

で、

師範は

「行草または草書」

で出書して下さい。

おか 聞 りゅう 野 田 書 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会段位用紙

ものごとを適切に処理できる能力のこ で必要不可欠なものといえるでしょう。 徳こそが、厳しい現実を生きていく上 達徳」とは徳の中の徳。この三つの 知」とは深い読みのできる能力、 「仁」は思いやり、「勇」は勇気、 中国 [解 説) ま h まね 3 き 3 や小さくかく

> じょう 城 せい清 大 ▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙 ならば、 ととなるに違いありません。

だけです。むしろ謙虚な姿勢で接した 下すような態度では、人の反発を招く 上で、能力があったとしても、人を見

ことができ、大きなメリットを生むこ

人望を集め、

よい関係を築く

▼2月課題予告 (行書)

何事も変わるもの 見る時とは

◆2月課題予告(行草または草書

運命に従順な

八間の姿は

奇妙に美しいもの

音に聞くと

『書経』中国の古典、

★満は… (書体=楷書)

満」は慢心のこと。たとえ立場が

五経の一つ。

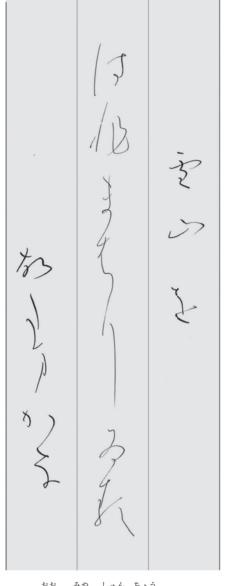
★知•仁…(書体=行書)

『中庸』

儒教の経書「四書

準初段から六段まで

新入から1級まで



故こ

大 宮 春 兆 書

○用具=自由(黒色に限る)

○用紙=本会級位用紙

満山雪におおわれた白一色

山中に、

ることである。

いつまでも雪山をはいまわってい

その音響は長くこだまとなっ突如として猟銃の音が響き

[古筆参考]

雪山をはひまはりゐるこだまかな 圏 多万可奈

■両課題とも、

文字の変換・配字は自由です。

類る

◆2月課題予告 ●3月課題予告 ・ しょ なれや梅真白

雪山をはひまはりゐるこだまかな 類 故 多 万 奈

雪山をはひまはりゐるこだまかな

[古筆参考]

in 切 し紙

締切り

月二十五日(必着)

築な 瀬せ 舟り 香さ 書

学んでまいりましょう。

ご一緒に香紙切を元にした作品作りを

今年も会長先生からのご依頼により、

また新しい年が巡ってまいりました。

「はじめに

(解説)

ている。待ちに待った春が、大空から

〔歌意〕今朝見ると、山に霞がかかっ

あまの原より春は来にけり今朝みれば山も霞みて久方の

やって来たのだ。

[出典] 金槐和歌集

・分と②、回と②、分と□、回と□そ

れぞれ呼応。

一行の中の密の動き大切。 ○作品の中の間大切。

ていしの院のうたあはせに

つらゆき

花みつゝをしむかひなく今日見れ ばほかの春とやあすはなりなん者可

▼2月課題予告

をする。

✓の方向大切。

行間をしめる仕事

片山かげに鴬ぞ鳴く うちなびき春さり来ればひさぎ生ふる

実 用 文 のページ

締切り 1月25日(必着)

昨年は念願の資格試験に合格し、大変ながら充実感いっぱいでした。 家族のお陰と感謝しております。 本年はさらに気を引き締めて努力 本年はさらに気を引き締めて努力

一両課題とも、書体変換は自由です。(黒色に限る)

用具=はがき、横書き課題ともに自由

題は一般部段位用紙を横に使用。用紙=はがき課題ははがき用紙、

新入から師範まで、どなたでも出書でき

作品の出し方

す。成績は評価により毎月変わります。

横書き課

ころをながりたままります。これをないからなと感がしてから先生はずるながり、充生のきないでは、でしたからなまが、たまながられます。 年は念願の資格试験に気物

※手本は水性ボールペン使用

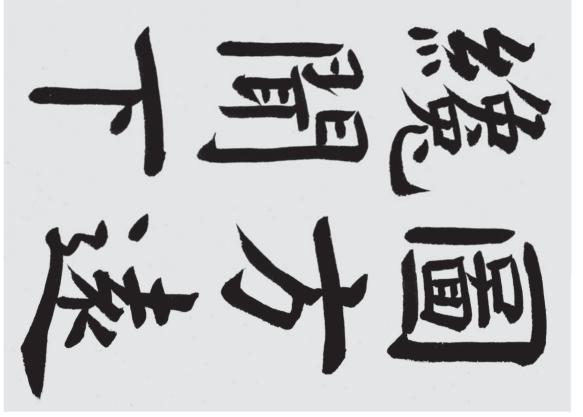
横書き課題

鬼 郷 翠 光 書

早春に黄色の花を開く福寿草は,「元日草」などの異名があう。
福島県郡山市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、**指定の地名**と氏名を書いて下さい。

盟 縅 遠 七 区 ᅱ



暢るなるのがある

[読み] (漢) 図は方に遠きも、纔かに下 (冊を) 聞くのみ。

[出典] 孔子廟堂碑 (626~633)

(筆者) 虞世南 (558~638)

[大意] 春の初めのよいきざし。

(読み) 青陽初正に兆す。

※青陽=初春のこと。

準初段から師範まで



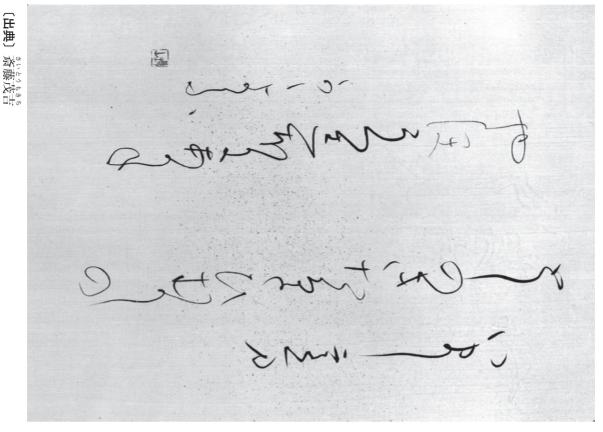
新入から1級まで(楷書)

 \coprod_{t} 葉 45 河

八百うづ潮にあかねかがよふ_{やほうでででであるなれながよないましいまとしの来たるとひむがしのっまっまっまって}

〔歌意〕 ああいまこそ新しい年が明けようとして、東方の遙かな海の沖 に茜の色がかがよいはじめている。

[出世]



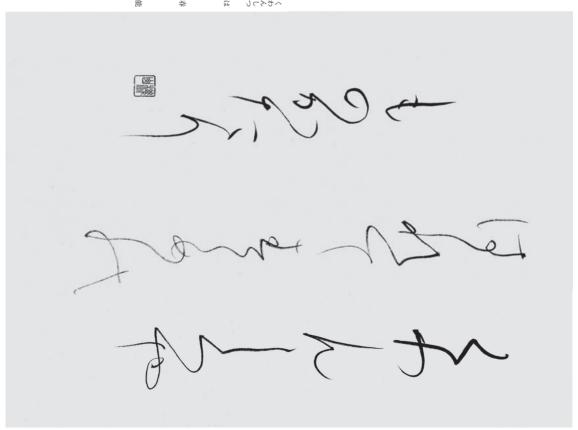
■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

準初段から師範まで

元日や晴れてすざめのものがたりいかんりょかんしょ

(句意) 〔壬世〕 服部嵐雪

「晴れて」は空の晴れるのと、なんの心配もなくの両意にかけた もの。いつも人影をおそれる雀らも元日だけはおおっぴらに嬉々 とたわむれている。



機も #0 光土

新入から1級まで

般部毛筆細字課題

般部毛筆条幅課題

締切り

一月二十五日(必着)

半

切

(一三六 m×三五 m)

荻ぉ 田た 蒼さ

仙ぱん 書

ている。

上には月が高くかかっ 声が夜空を裂き、 〔大意〕 老いた鶴の一

山の

丙申新春

初出品の方へ を、作品左下に必ず 姓名·毛筆漢字成績 支部名•会員番号•

ましょう。古典の形をそのまま借りて満足しな 作品。難かしい。古典に忠実は大事ですが、そ じように、異質の七文字を調和よく収めるのが、条幅解説)能力も考え方も異なる人間社会と同 れを現代的にどう生かすかを、時には考えてみ 念頭に当たり生意気なことを申しま お書き下さい。

教原三千村

半紙 (3 3 4 mm × 2 4 0 mm)

だ 田 か玲 か華 書

した。

いように。

印で墨つぎしました。

昨日採用決定の通知が届きました

ご相談申しておりました就職の件

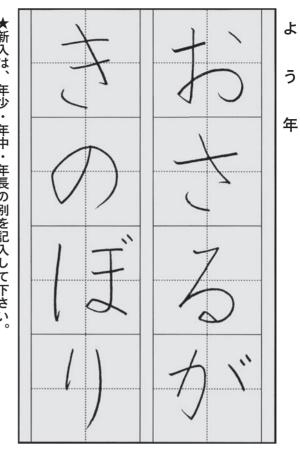
おかげと心から感謝しています これも偏に先生のアドバイスの

(ご自分の氏名

〔条幅・細字作品の出し方〕 新入から師範まで、どなたでも出書できます。

成績(天位~5等)は、 評価により毎月かわり

★幼年は、 全員8マス用紙で出書して下さい。



1) 幼年~小三年まで 三五 宅は 容さ 玉裳 書

新入~1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準初段以上

小

年

たけ 〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる) あ 合合合

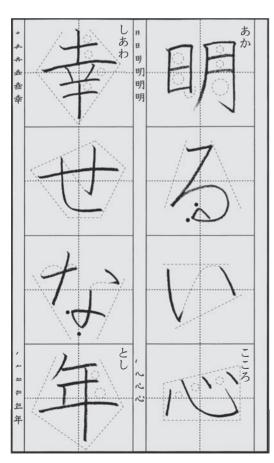


準初段以上

小

Ξ

年



| (注)えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。 | な | () | 明 |
|-----------------------------|----|-----|---|
| | 年 | 9 | 3 |
| | 1) | で | < |
| | to | 幸 | 美 |
| いけません。 | 3 | せ | |

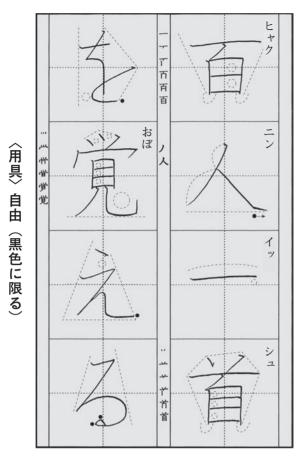
準初段以上

小

四

年

準初段以上



ゆめ む(かう) ソウ 的向向 小四年以上 こころざし シュン 艺志志 間か 嶋ま 桂い][[t] 書

解 (よく見て習いましょう)

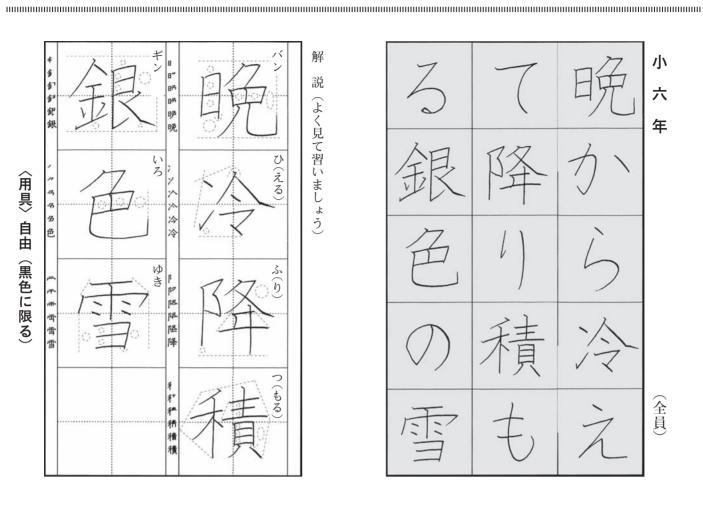
| | | | | _ |
|-------------------------|---|---|-----|------|
| 小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。 | | 北 | 夢 | 小五年 |
| | 早 | 2 | | |
| | 春 | 高 | 向 | |
| | | < | クト | |
| | 光 | 持 | \ \ | (全員) |
| | | | | • |

小

六

年

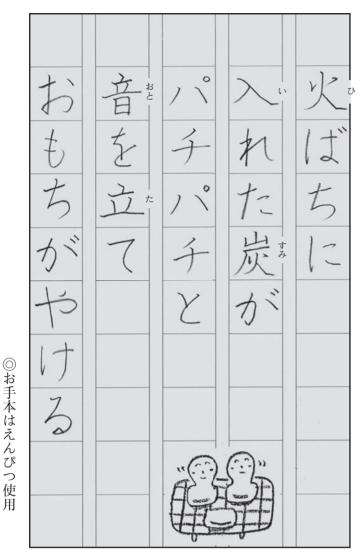
(全員)

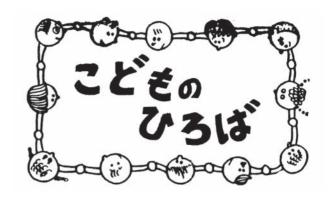


中二・三年

年

むら村 せん 仙 花花 撃 ▼小三年以下の課題 書





しめきり 1月25日(必着)

習っていない漢字は ひらがなで書いてもよろしい。

じょう 城 りょく 緑 фŧ Ц かど 門 ▼小四年以上の課題 書

町

一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。

◇作品の出し方

- 作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて
- 筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章 を適当に短くして下さい。
- 支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。 ていない方は新入とみなします。 貼っ

成績は評価により毎月変わります。



◎お手本はつけペン使用

小 年 小 年 ょ う 年



玉樹小 華書



玉樹小 華書



玉 樹 小 華 書

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1 (68cm × 17.5cm) に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。 小 五 年

小 四 年

小 三 年



水野香竹書



水野香竹書



水野香竹書

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1 (68cm × 17.5cm) に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。 両方に出品される方は、二枚お送り下さい。注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。

中二・三年

中一年

小 六 年



奥村暢之書



奥村暢之書



奥村暢之書

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1 (68cm × 17.5cm) に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。